

阿南市立小・中学校再編基本計画の紹介 その④

●学校再編の方法

教育委員会では、児童生徒の教育環境の更なる向上を目指して学校規模の適正化を進めるうえで以下のようなことを考慮していきます。



阿南市立小・中学校再編基本計画の内容

再編統合の方法	再編統合は全市的な課題であることから、対等な関係での再編統合を行うことを基本として、吸収統合ではなく、新設統合を検討することとします。したがって、新設統合の場合は新たな学校として校名・校章・校歌を制定します。また、学びの連続性を確保する方策として小中一貫教育の導入も検討の対象とします。
再編統合後の場所及び施設について	既存の学校敷地と校舎・設備を有効活用することを優先的に検討します。ただし、再編統合の規模により既存の状態では対応できない場合は、その限りではありません。
学校区について	既存の学校区が地域の枠組みとして認知されていると考えられることから、可能な限り、既存の学校区を基本とした再編統合を検討します。
通学手段・安全確保について	小学校への通学距離はおおむね徒歩（中学校は自転車）によって通える範囲とし、その距離を超える場合は、公共交通機関やスクールバス等による安全安心な交通手段の利用を確保できるよう積極的に努めます。ただし、児童生徒の負担軽減を図るため、適切な移動時間（国の基準は60分以内）を設定します。また、学校周辺の公共施設や通学路の安全が確保された場所を乗降場所として利用する等、部分的に徒歩による通学を織り交ぜること等も検討します。


豆知識 「小中一貫教育」について

小中一貫教育の基本形として「一人の校長の下で一つの教職員集団が一貫した教育課程を編成・実施する9年制の学校で教育を行う形態（義務教育学校）と、組織上独立した小学校及び中学校が義務教育学校に準じる形で一貫した教育を施す形態（小中一貫型小・中学校）の2つ」の形態があります。そのうち義務教育学校は「義務教育9年間の学校教育目標を設定し、9年間の系統性を確保した教育課程を編成・実施する新しい種類の学校」です。

今回は、「学校再編と家庭・地域との関係」について紹介する予定です。

※阿南市立小・中学校再編基本計画については、市ホームページに掲載しています。



※市ホームページのトップに学校再編のバナー  を作成しました。こちらからも再編基本計画や学校再編の取組が確認できます。



写真と本文は直接関係ありません。